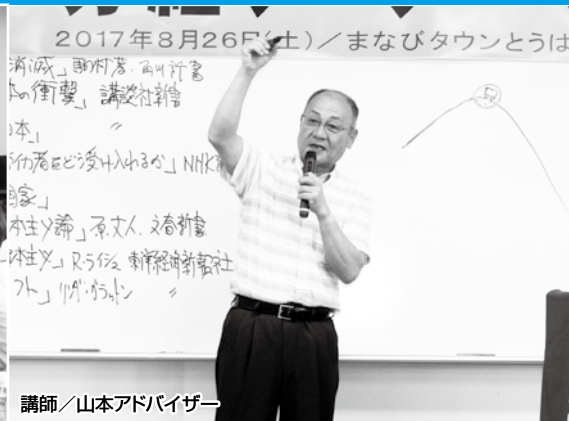


我々の手で次世代のリーダーを育成しよう！

—「労組リーダーセミナー」中堅層の役員42人受講—



講師／山本アドバイザー



8月26日(土)、まなびタウンとうはく(琴浦町)に受講生と広報・教育局員の総勢55人(うち女性8人..) 参画率15%)が集い、グループ討議と、中央労協アドバイザーの山本幸司さんを講師として迎えた講演会 からの「連合鳥取2017労組リーダーセミナー」を開催しました。

■グループ討議

(ファシリテーション研修※注1)

ファシリテーター(※注2)の若月哲郎執行委員の指導のもと、最初の自己紹介からはじまり、各テーマについて8グループの中で討議を行いました。

【テーマ】

- ①組織とは
- ②組織を代表する人たちの役割
- ③労働組合とはなにか
- ④組合運動の難しさ
- ⑤これからの労働組合は

どうあるべきか

それぞれ意見を出し合い、また、「いかに全員の意見を引き出すか」、「それをどう吸い上げるのか」に意識しながら出された意見をすべて書き上げ、そして発表を行いました。最後に「⑥振り返って」を議題に話し合い、今一度「労働組合活動」を振り返り気づくこともありました。

■講演

「連合評価委員会

最終報告から14年、

安心社会実現に向け

労働組合と協同組合の

連携を強化し

職域・地域で社会的労働運動を

推進しよう！

日本の現状、将来について、また激変する日本社会の5つの問題に対して、今まさに労働運動の真価



■まとめ

最後に、講演を聞いてのグループディスカッションを行い、日本社会の動向、それに伴う労働運動の重要性、難しさを再認識することとなりました。参加者には、今回学んだ事を活かして、それぞれの組織の中で活用していただくようお願いいたします。

が問われています。社会運動としての労働運動が不可欠であること、労働運動の重要性について改めて学ぶことができました。

【5つの問題】

- ①格差と貧困が拡大する
- ②雇用・就労形態の変化と劣化
- ③家族機能の変化による
- ④長寿社会の到来
- ⑤グローバル化の進行と政府のガバナンスの低下

※注1:
会議やプロジェクトなどの集団活動がスムーズに進むように、又成果が上がるように支援すること。
※注2:
会議などでグループ活動が円滑に行われるように、中立的な立場から支援を行う人。

連合鳥取2018年度政策・制度要求を鳥取県へ提出

別添「要請事項」をご参照ください

■ 平和特集 ■

— 東・中・西地協「ピースウォーク」で平和を訴える —

【中央(西部)ピースウォーク:8月2日(水)/約300人参加】

集会前に米子商工会議所付近からJR米子駅前までデモ行進をし、「核実験に反対するぞ!」「ノーモアヒロシマ!」「ノーモアナガサキ!」などとシュプレヒコールを行いながら世界の恒久平和と核兵器廃絶を訴えました。

デモ行進終了後、「集会」を開催し、主催者を代表し本川博孝会長が「政府はどこを向いて誰のための政治を行っているのか。また、核兵器禁止条約も日本は不参加であった。被爆国として許されない」とあいさつしました。その後、オール沖縄会議作成のDVD「知らない沖縄」を観賞し、マスコミ等で流れない沖縄県民の真実を学びました。

続いて、基地問題は決して沖縄だけの問題ではなく、身近に美保基地もあることから、「美保基地の歴史」をパワーポイントにより学び、当時の美保基地の役割、住民反対運動、今後の美保基地の役割等について学習しました。

最後に、自らが恒久平和について考え、社会に目を向けることを全体で確認し閉会しました。

「美保基地の歴史」講師/松本雅之さん



【東部地域ピースウォーク:7月29日(土)/約180人参加】

今年は、原爆投下直後の広島に驚いたスイス人医師ジュノー博士が救援・治療に心血を注いだ物語・アニメ「ジュノー」を上映しました。

参加した組合員からは「私たちは、こうした戦争による悲惨な歴史を決して風化させてはならない。核兵器廃絶への取り組みはあきらめることなく続けていくことが必要」などの感想がありました。



【中部地域ピースウォーク:7月28日(金)/約100人参加】

<内容>

終戦間近な7月28日に大山口駅付近で米軍機に空襲を受けた列車の被災者の関係者が「大山口列車空襲被災者の会」を設立し、慰霊と「戦争体験を語り継ぐ役目」を担って活動されているみなさまに、紙芝居「がき大将の特攻物語」※と、米倉斉加年さんの本「大人になりきれなかった弟たちへ」の朗読を行っていただきました。

紙芝居は、西部の高校美術部の協力によりアニメ調なところは受け入れやすいものでしたが、空襲の場面の語りは衝撃的のものであり、戦争の悲惨さをあらためて感じました。

※物語のあらすじは、連合鳥取HPに掲載されています。



2018制度・政策要求書を 鳥取県知事に手交

8月9日(水)、本川博孝会長と田中穂事務局長が平井伸治鳥取県知事を県庁に訪ね、29項目からなる「2018年度政策・制度要求」を手交しました。

今後は、10月にかけて各担当部局と「働き方改革推進」などについて協議を進めていきます。



ご存知ですか? 「連合鳥取第3次 男女平等推進計画」②7



連合が今年1月から5月に実施した「雇用における男女平等に関する調査」の結果がまとまっているよ。
この中で、「女性活躍のための行動計画の策定状況」も集計されているから一緒に見てみよう。

女性活躍のための行動計画の策定状況

	策定している	策定していない	わからない	無回答	件数
総従業員数 301人以上	52.1	5.3	38.6	4.1	4423
300人以下	19.6	25.3	49.9	5.2	750

2016年4月に施行された女性活躍推進法では、国や地方公共団体、301人以上の民間事業主(300人以下は努力義務)に対して、女性活躍に関する行動計画の策定を義務づけている。

そこで、勤務先の企業の従業員数別に行動計画の策定状況を見ると、301人以上では、「策定している」(52.1%)は半数強で、「策定していない」も5.3%を占める。

なお、「わからない」(38.6%)が4割弱と少なくない。300人以下については、「わからない」(49.9%)が半数を占め、「策定している」(19.6%)は2割にとどまる。

フォトニュース 連合平和行動に参加

連合は毎年、6月から9月を「平和月間」と定め、毎年、沖縄・広島・長崎・根室で集会を開催しています。

平和についてより深く考える取り組みとして本年も下記のとおり参加をしました。9月9日(土)、10日(日)の「根室集会」にも3人が参加する予定です。

沖縄／6月23日(金)－24日(土)



8人参加



辺野古
にて



広島／8月5日(土)－6日(日)



20人参加



折り鶴
献納



長崎／8月8日(火)－9日(水)



3人参加



美しい鳥取砂丘を未来へ残そう
—東部地協 今年も除草作業に汗を流す—



東部地域協議会は
8月20日(日)、自然
環境保全活動として
昨年引き続き「鳥
取砂丘でボランティア
除草」を実施しました。

美しい鳥取砂丘の姿を維持し未来へ引き継いでいくための県と市が取り組んでいる活動に参加したもので、当日は組合員とその家族計56人が早朝から心地よい汗を流しての作業となりました。

県の砂丘レンジャーから作業内容の説明を受けて除草を開始し、小さな鍬を使ってメヒシバ・オオフタバムグラなどの雑草を取り除きました。

＜鳥取砂丘の草原化と除草の取り組み＞

1970年ころから砂丘に生えていない外来植物が目立ち始め、砂の移動が減少して砂丘本来の美しい景観を損ねたりするなど、砂丘の草原化が深刻となり始めました。平成6年から県と市が除草活動を開始し、継続しています。除草作業の進展に伴い今では砂丘本来の姿を取り戻しつつあります。平成27年度は約7,635人のボランティアが参加しています。



Information

※詳しくは、**連合鳥取事務局**へ
お問い合わせください。

連合鳥取／第26回連合鳥取杯親睦ゴルフ大会

◆日時 2017年9月30日(土)
受付開始 7時00分～
スタート 7時32分

◆場所 旭国際濱村温泉ゴルフ倶楽部
〒689-0204 鳥取市御熊586-1

◆参加人員 96人
◆プレー費 8,600円
(昼食・ワンドリンク込み／各自負担をお願いします。)

◆参加費 3,000円
(当日、受付で徴収させていただきます。)

◆申込み切 9月15日(金)
※産別を通じて案内しています。



正社員はもう、パート、アルバイト、学生、派遣社員、そして調理師の方まで、どなたでも職場で役立つ法律知識を身につけられます！

ワーフル検定

2017秋 〈初級〉

■検定日時
**2017年
11月23日(木・祝)**

■申込受付期間
9月1日(金)～10月25日(水)
※先着順、定員になり次第締め切ります。

■初級検定
AM10:00～12:00
受付開始 9:20
講習 60分 & 検定 45分
検定料:2,900円 (税込)

■検定会場
**鳥取県
鳥取市・白兔会館**

自分や仲間を守る。
部下を守る。
コンプライアンスを
実践できる！

■主催 厚生労働省、日本生産性本部
協賛 日本労働組合総連合会
一般社団法人 日本ワーフル検定協会
電話番号 03-3254-4645
受付時間 9:00～17:00
E-mail jiwakei@workrule-keiei.jp

公式テキストブック

ワークルール検定に
挑戦しよう！



「ワークルール検定2017秋・初級」に挑戦しよう！



湯原 俊二

— りょくひ 緑肥の想い —

- * 組合行事に湯原さんをお呼びください。
- * 湯原さんの想いを直接聞いてください。
- * そして、私たちの声も湯原さんに届けましょう。



8/25 水明荘

— 湯原俊二 夏の集い —

多くの組合員のみなさんの
参加で超満員
ありがとうございました



7/29 スマイルホテル米子



7/30 米子ワシントンホテル



8/2 JR米子駅前通りデモ行進



7/31 JR西労組米子支部事務所



8/26 米子コンベンションセンター

連合鳥取労組リーダーセミナー

“政治”とはまちづくりの枠組・基礎をつくるもの。国づくり、まちづくりの会費(財政)の集め方と何から使うかを決めるもの。“政治”に関心をもって、結集して、選挙に行くことは労働運動の取り組みの柱となる。政治を前に進めていくために頑張ってください!!



8/26 まなびタウンとうはく

— 支援の輪を広げましょう —

“ザ・議員”

秋山 智博

鳥取市議会議員

6月議会の質問→

長時間労働の是正を(市役所、小中学校域で)。

問 基本的な考えと、過労死ラインと言われる複数月の平均が80時間越えや、月に100時間を超える時間外勤務の対応を問う。

答 〈市長〉所属長が面談し、その結果を産業医と保健師が確認の上、面談を行うなどの健康管理を行っている。時間外勤務の削減は、ノー残業デーやワーク・ライフ・バランス強化月間の取り組み、管理職による適正な労務管理の徹底など。

〈教育長〉教員については、管理職が面談を行い、必要があれば医師の診断を促すなどを行っている。各学校では、終了時刻の設定、部活動を行わない日を設けるなど工夫している。校務支援システムの導入などで、事務業務等の効率化を図っている。

行政視察／
歴史と街並みを活かした
まちづくり(岐阜県高山市)



稲田 清

米子市議会議員

「教育の為に何ができたんですか」と興奮じりの突如の質問。背景を伺うと「小中学校にエアコンが設置されていない」ことへの憤りでした。

まさに政策の出発点は“有権者の考え”であり、“政治家はそれを具現化していくのが仕事”という原点に戻った一幕でした。

気持ちを新たに夏祭り、納涼祭、米子市小中PTA代表者会等で市民の方々の意見を拝聴し、数多くの夏休みの宿題をいただいた次第です。子どもたちがスーパーボールをすくい上げる姿を見ながら、いただいた意見をどうすくい上げるかを考える盛夏でした。

※写真は夏祭りの焼きそば、
納涼祭のスーパーボール
すくい担当。来賓ではなく、
働くおじさんです。



（いろんなびつ）
やっぱり鳥取は
いいところだ！



てんじんくらぶ



再生紙を使用しています